

目指す学校像

瞳かがやき 笑顔あふれる学校

児童生徒の課題

保護者の願い

研究主題 **意欲的に自分の役割に取り組む力を育てる授業づくり**
(2年次/2年計画)

目指す児童生徒像

一人一人の障害の状態や発達段階、特性等に応じた知識、技能及び態度を身に付け、積極的に社会参加、職業自立できる児童生徒を目指す。

- (1) じょうぶな子 健康で、安全な生活ができる児童生徒
- (2) すなおな子 明るく、仲良く、礼儀正しい児童生徒
- (3) がんばる子 進んで取り組み、最後までやりぬく児童生徒

目指す授業

- ・児童生徒が自分の役割を自覚し、次時の活動に見通しをもち、自ら取り組む授業
- ・児童生徒一人一人が振り返りから見えてきた気づきや課題に取り組み、目標に向かって努力しようとする姿を引き出す発問や手立てのある授業



研究主題設定の理由

令和4年度は、「意欲的に自分の役割に取り組む力を育てる授業づくり～めあてにつながる振り返りに焦点を当てて～」を研究テーマとして、振り返りに焦点を当て、各教科等を合わせた指導を中心に検証を行った。振り返りをめあてにつなげていくPDCAサイクルに基づき、思考や試行の振り返りを意識した取組を実践したことで、自ら取り組む力の育成につながる授業づくりの改善が図られた。一方で、児童生徒が自分の役割に取り組む姿は見られたものの、自分の課題を自分事として捉え、自ら改善していくようになるには、認められる経験や自分の存在価値を実感することの積み重ねが大事ではないかと考えた。改善策として、自立活動の視点をもった実態把握や児童生徒の変容の根拠となる評価規準を設ける必要性が出された。

今年度本校では、「意欲的に自分の役割に取り組む力の育成に向けた、根拠のある授業づくりの推進」が学校経営の重点事項の一つとして挙げられた。自立活動の視点をもって実態把握を実施し、児童生徒一人一人が目標に向かって努力しようとする姿を引き出すために、評価規準を設けて児童生徒の変容に結び付け、根拠のある授業づくりを目指す。

「主体的・対話的で深い学び」を実現することの意義について、「学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる『主体的な学び』が実現できているか。子供自身が興味を持って積極的に取り組むとともに、学習活動を自ら振り返り意味付けたり、身に付いた資質・能力を自覚したり、共有したりすることが重要である。」(中央教育審議会、2016)としている。

以上のように、本校では、自分の役割に取り組む力を育てるために根拠のある授業づくりに向けて、授業改善を図っていきたく考えた。

仮研究

児童生徒が自分の役割を自覚し、思考や試行の振り返りを積み重ねることで、次時の活動に見通しをもち、自ら取り組む力が育つであろう。



研究の内容と方法

○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりについて、各教科等の目標を意識した単元目標を設定し、児童生徒の変容の根拠となる評価規準を用いた学習評価を実施し、各教科等を合わせた指導の学習で検証する。
※自立活動においては、児童生徒の実態に即し、育成を目指す資質・能力を明確にして目標や内容を設定する。

全校・学部授業研究会

- 授業提示と授業協議及び改善授業の実施
- ・教育計画に基づいた指導目標・内容の設定
- ・単元構成検討会、学習指導案検討会の実施
- ・児童生徒の視点での授業研究会の実施
(児童生徒の姿を根拠にした付箋紙の記入) 他

「日々の授業改善協議」(以下、日々研)

- 一人一回の授業提示(研究対象のT1、T2の授業)と協議の実施
- ・「授業の基本チェック」の項目の見直しと活用
- ・授業映像の教職員共有フォルダ内への保存 他

授業づくりに関する研修会

- 全校研究会・学部研究会・日々研を活用した授業スキルアップ研修の実施・研究集録・研究部報の発行 他

授業実践を通じた教育課程の改善

- ・カリキュラム・マネジメントを四つの側面から捉えた教育活動の改善 (教科等横断的・資源活用・PDCAサイクル・個別の指計画の活用)
- ・自立活動の視点をもった授業づくり
- ・教育課程三部会を活用した授業づくりの課題の吸い上げと改善策の検討 他